

びっくり! エコ新聞

小学校のみんなは、かぞくといっしょにみてね



びっくり! エコ実行委員会
MAIL: info@eco100.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



地球はひとつしかありません。SDGsは、たったひとつだけ、かけがえのない地球上で、資源や環境を壊さずに、みんなが幸せに生きていくことができるように、大人も子どもも、一緒に考え、行動していくためのヒントであり、世界中でさまざまな取組が行われています。

今号の『びっくり! エコ新聞』は、イベントや授業として、京都で実際に開催されている活動を紹介いたします。

今、地球上には約76億人の人間が生きています。その人たちが日本人の現在の生活を続けていくためには、地球が2倍以上必要になると言われていますが、それはとりもなおさず、厳しい環境のもとで苦しい生活を続けている人がたくさんいるということでもあります。

SDGsで持続可能な世界をめざそう!

地球上で起きているいろいろな問題を解決して、世界の人たちが生き続けていくことができるよう、みんな考え、行動に移していきましょう。

2030年の地球を支える 今の子どもたちと



京都大学で地球環境問題に取り組む学生組織「エコくる」が、2017年の京大20周年記念として「持続可能な活動」プロジェクトを展開しました。そのなかで、SDGsの17の目標を達成する活動に挑戦しています。

『びっくり! エコ新聞』夏休み特別企画の一環として、「持活ランチ」を実施(※裏面参照)し、学生と子どもたちが班に分かれて、食事に関連するSDGsの目標について学びました。「1 貧困をなくそう」「2 飢餓をゼロに」「15 陸の豊かさも守ろう」などの目標を考えながら、各人が環

境や持続可能性に配慮したランチメニューを選び、食べ残しゼロにも挑戦しました。



京都府内の中学生を対象としたゼミを開催。それぞれ10人の中学生と、大学生・院生が参加し、地球環境問題やSDGsについて学び、「私は何が出来る?」というテーマで意見を話し合い、私の「持続可能な暮らし」を宣言。レジ袋をつかわない、オリジナルのマイバッグもデザインしました。

京大府内の中学生を対象としたゼミを開催。それぞれ10人の中学生と、大学生・院生が参加し、地球環境問題やSDGsについて学び、「私は何が出来る?」というテーマで意見を話し合い、私の「持続可能な暮らし」を宣言。レジ袋をつかわない、オリジナルのマイバッグもデザインしました。

京のアジェンダ21 フォーラム

SDGsマップづくり (2016年10月~2017年6月)

エコくる京大 持活プロジェクト



安朱小学校の授業に協力 (2017年9月4日)

持活生活チーム、原点チーム結成 (2017年9月14日)

持活生活チームはSDGsの17の目標を、それぞれの毎

日の生活で実行して達成することをめざして活動しています(下段コラム参照)。原点チームは、SDGsの内容について、掘り下げて研究しています。



SDGsは、学校でも、家庭でも、1人でも学び、実行することが出来ます。中面で詳しく解説していますので、それを参考に、2030年の世界で中心的な存在となっている今の子どもたちが一人ひとりが、自分のできる目標に取り組んでいきましょう。

未来のためには、今から、世界を変える行動を始めることが必要なのです。

「SDGsって難しそう」と思っている皆さんに朗報です! 暮らしの中でできることがたくさんあるからです。京都大学の持活メンバーの実践・コメントからヒントを探ってみてください。ここでは特に、日本であまり達成できていない項目、つまり中面左下で赤色・オレンジ色・黄色の目標に注目します。生活の場面で考えると、ほら、できそうではないですか!

「持続可能な暮らし」を宣言。レジ袋をつかわない、オリジナルのマイバッグもデザインしました。

「持続可能な暮らし」を宣言。レジ袋をつかわない、オリジナルのマイバッグもデザインしました。

私たちのSDGs的生活

「SDGsって難しそう」と思っている皆さんに朗報です! 暮らしの中でできることがたくさんあるからです。京都大学の持活メンバーの実践・コメントからヒントを探ってみてください。ここでは特に、日本であまり達成できていない項目、つまり中面左下で赤色・オレンジ色・黄色の目標に注目します。生活の場面で考えると、ほら、できそうではないですか!

食べる

余熱調理をする、食べ残しをなくす、お酒を控える、ウナギを食べない、ブラックバス等の外来種を食べる 等々



ウナギはお好き?

ニホンウナギが絶滅危惧種に指定されていることを知っていますか? 普段からお店に並んでいるため、知らない人も多いかもしれません。理由は稚魚であるシラスウナギが獲れないことにあります。そこで、私たちはウナギを食べないことにしました。でも、私たちがウナギを食べないとウナギ屋さんは困ってしまうかも? 早く、完全養殖を達成して、堂々とウナギ屋さんに行きたいですね。



岡島 未奈

暮らす

節電する(エアコンやテレビをこまめに消す)、自宅で太陽光発電をする、避難用バッグを用意する 等々



避難用バッグを用意してみました! が……

もしも災害が起こったときのために避難用バッグを用意してみたけど、必要なものがけっこう多いなあ……僕のバッグだと入りきらないや。こんなに多くのものを持って避難できるだろうか? 力の弱い小さい子どもやお年寄りだったら?



西堀 功規

洗う

節水する、洗剤を使いすぎない、米のとぎ汁を花にあげる 等々

達成できる目標



使う

使い捨てのわり箸やおしぼり、ビニール袋をもらわない、ごみの分別を行う、家庭で出た資源ごみはスーパーの回収ボックスへ、詰め替え用容器を利用する、古紙回収を利用、裏紙を使う 等々

達成できる目標



「簡単」「便利」の裏側

コンビニエンスストアや百貨店で買い物をすると、店員さんが勝手に袋に入れてくれます(一部では渡さない努力をしているところもあります)。何もなくてよくて便利です。買ったお弁当を食べ終わったあとは、お箸と一緒にレジ袋に入れてそのまま近くのごみ箱にポイ! これもまた便利ですね。ですが、私たち消費者が「簡単」「便利」なものを求めれば求めるほど、その裏側で見過ごされるものや失われていくものがあることを忘れてはなりません。



久保 文乃

達成できない目標は「ない」

まだまだ難しい目標もたくさんありますが、ある目標を達成することで、別の目標が達成されるということもあります。

例えば、節電やごみの分別は、気候変動対策につながります。火力発電所の稼働を減らすことやごみの焼却量を減らすことは、CO2等の温室効果ガスの削減につながるからです。

また、教育をみんなに提供することは、男女間の不平等の解消につながります。みんながきちんと教育を受けられるようになれば、男性も女性も同じように働くことができるようになり、男女間の賃金格差の解消につながるからです。



難しいと ながだしては いけませんね!

